

むさしの TALK

子どもが自由にのびのび育つ たくさん緑と広い空があるまち

みなみらんぼうさん

独身時代から足かけ40余年、武蔵野市に住む、みなみらんぼうさん。
シンガーソングライターの心をつかんだ武蔵野市の魅力を伺いました。



みなみらんぼう

1944年宮城県生まれ。シンガーソングライター。76年に発表した『山口さんちのツトム君』はミリオンセラーを記録。エッセイストとしても活躍し、読売新聞の夕刊「みなみらんぼうの一步二歩山歩」の連載は17年にわたる。2000年11月から2012年10月まで武蔵野市教育委員を務めた。

PRESENT

みなみらんぼうさんの直筆サインCD『みなみらんぼう全曲集(2011)』と直筆サイン色紙をセットで抽選で3名様にプレゼント!詳しくは本誌折り込みハガキをご覧ください。



住む場所というのは、案外ひよなことで決まることが多いのではないのでしょうか。私の場合は、三鷹駅の北口で人と会い、そのときに駅前の木立の中に『山林に自由存す』と書かれた国木田独歩の詩の石碑を目にしたのが武蔵野市に住むきっかけとなりました。詩には学生時代に触れていましたが、しばらく経って思いがけず目にし、その言葉に惹かれて「あ、ここに住もう」と一瞬で決めた感じです。

NHKの『みんなのうた』で歌われて多くの人に愛してもらった『山口さんちのツトム君』は、武蔵野市に住んでからできた作品です。それから結婚して、子どもが生まれ、彼らも独立しましたが、ずっと武蔵野市に住んでいるのは、やっぱり住心地が良かったからだと思います。住み心地を良くしているもののひとつに、緑の多さがあります。私はよく散歩をしたりジョギングをしますが、中島飛行機の引き込み線跡の遊歩道から都立武蔵野中央公園

園につながるルートがとても気に入っています。車が入ってこないの歩きやすいですし、細い道を歩いた先に、ドーンと広い公園に突き当たった感じがとても良いですね。この公園は、当時の行政が「遊び方は、自分たちで考えよう」という姿勢で、遊具などをあまり配置しないという英断を下してつくられたので、都会ではほとんど見られない広々とした空間があります。公園の上の空は、三角にも四角にも切り取られていません。こうした空間があれば、子どもたちはのびのびと育ってくれるのではないかと感じています。いつまでもこの空間を大切にす武蔵野市であってほしいですね。

